



2022年2月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 マ イ ネ ッ ト
住 所 東 京 都 港 区 北 青 山 二 丁 目 11 番 3 号
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 上 原 仁
(コード番号：3928)

問 い 合 わ せ 先 取 締 役 小 出 孝 雄
TEL. 03-6864-4261

剰余金の配当、並びに連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、剰余金の配当の件を2022年3月29日開催予定の定時株主総会に付議する旨、決議いたしました。当社は、株主還元を重要な経営課題と捉えており、新規事業開発やM&A等の先行投資により企業価値の向上を目指しながらも、並行して配当や自己株式取得を通じて株主の皆様への利益還元をおこなってまいります。

また、本日発表の2021年12月期通期決算短信の開示に伴い、同通期連結業績予想値と実績値との間に一定程度の乖離が発生いたしましたことを併せてお知らせいたします。

1. 剰余金の配当の件

(1) 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2021年2月12日公表)	前期実績 (2020年12月期)
基 準 日	2021年12月31日	同左	2020年12月31日
1株当たり配当金	6円00銭	未定	0円00銭
配当金総額	52百万円	—	0円
効力発生日	2022年3月30日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

(注) 上記の内容については、2022年3月29日開催予定の当社株主総会において、「剰余金の配当の件」が承認可決されることを条件といたします。

(2) 株主還元方針

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして認識しております。そのため、当社の将来の成長に必要な新規事業開発、研究開発、M&Aなどの先行投資による企業価値の向上を目指しながらも、並行して株主還元として、株主資本配当率(DOE)3%を目安に毎期配当を行うことを基本方針といたします。その上で経営環境、連結業績やキャッシュフローなどを鑑み、追加の配当や自己株式取得実施の検討をしてまいります。

(3) 理由

上記(2)株主還元方針に沿って、自己株式取得とあわせて剰余金の配当を行うものです。

※ 配当予想(2022年12月期)は次のとおりとします。

基準日	1株あたり配当金(円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
配当予想	6円00銭	6円00銭	12円00銭
実績 (2021年12月期)	0円00銭	6円00銭	6円00銭

2. 通期連結業績予想値と実績値との差異の件

2021年2月12日公表の2021年12月期（2021年1月1日～2021年12月31日）の通期連結業績予想値と本日公表の実績値の間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

（1）通期連結業績予想値と実績値との差異（2021年1月1日～2021年12月31日）

（単位：百万円）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想（A）	11,600	750	700	650
実績値（B）	10,571	577	546	229
増減額（B－A）	△1,028	△172	△153	△420
増減率（％）	△8.9%	△23.0%	△21.9%	△64.7%
前期連結実績 （2020年12月期）	11,533	1,135	1,116	1,129

（2）修正の理由

本日開示の2021年12月期第4四半期の実績につきましては、当社主力事業のゲームサービス事業において、直近では超大型のタイトルの受託に成功いたしました。期初の想定よりもタイトルの仕入れ本数の減少、獲得時期が遅れたことに起因し、通期予想に対して下振れる結果となりました。

また、2021年12月期第4四半期の決算において、繰延税金資産の取崩し及び、ゲームタイトル等の減損が確定し、親会社株主に帰属する当期純利益は、通期予想に対して420百万円下回る、229百万円となりました。

以上